

# 事業所自己評価・サービス評価

(小規模多機能型居宅介護)

サービス種別	・小規模多機能型居宅介護 ・介護予防小規模多機能型居宅介護			
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 ほなみ			
事業所所在地	山形県最上郡舟形町舟形42-1			
連絡先	電話	32-3900	FAX	32-3933
運営推進会議開催日	令和2年2月14日 開催			
提出書類	<input type="checkbox"/> 事業所自己評価(9枚) <input type="checkbox"/> サービス評価総括表(2枚)			

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 11月 26日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 小規模スタッフ 10名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?					

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	6	0	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	9	0	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	6	0	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	5	1	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・新規利用者についての情報は、フェイスシート、引き継ぎ帳等で事前に確認し、お試し利用を何回か行い、利用時の記録を残し、それを元に気づきや対応の仕方について、情報を共有した。</li><li>・担当者会議で、本人、家族が必要な支援を確認し、利用時に支援を行えるようにした。</li><li>・サービス利用開始直後は、関わりを多く持ち不安を取り除ける様に配慮している。</li><li>・同地域の利用者さんを紹介したり、出来そうなことを(得意な事)をお願いするなど、その場に居やすい環境を作るよう配慮した。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・訪問時に日中帯の家族とは直接話す機会もない為、本人を支える為の不安を知ることが出来ていない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・自宅での様子や体調、困りごと等を確認しミーティング時に伝達していく。また、伺いたい情報や分からない事は電話するなどして確認し情報の共有に努める。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11月 26日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 小規模スタッフ 10名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?					

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	10	0	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	10	0	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	8	1	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	8	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・個々のケアプランや個別援助計画に沿って、目標や「～したい」を理解し、レクリエーションや機能訓練を実施した。また、看護師のアドバイスを受けて、無理のないように状態観察行いながら支援を行なった。</li><li>・明確な目標が掴みにくい利用者もいるが、ご家族から話を聞き、利用者の「～したい」を把握できるように努めた。</li><li>・利用者の対応について、効果があった事や成功した対応については、引き継ぎや小規模会議にてスタッフ間で共有し、充実した生活を送れる様な支援を行なった。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・訪問時等は、限られた時間の為、ゆっくりと話をしたり、コミュニケーションを図る事が難しいと感じた。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・気づいたことはケース記録や引き継ぎ等で共有し、本人の思いが繋がる様統一した支援を行なう。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11月 27日

3. 日常生活の支援

メンバー 小規模スタッフ 10名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4	6	0	0	10

前回の改善計画	・認知症等の障害で意思疎通困難な方は、家族や関わりの深い方から、サービス担当者会議等の機会に「以前の暮らし方」の情報をいただき支援につなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・担当者会議において、以前の暮らしの聞き取りをおこなった。また、聞き取りシートを作成しコミュニケーションを図りながら情報収集に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	7	0	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	5	3	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	7	3	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	7	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	8	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の聞き取りシートを活用して、以前の暮らしについて把握できるように努めた。</li> <li>・自尊心を傷つけたり、過度な介護にならないように、現在の身体状態の把握に努めて対応した。また、体調や気持ちの変化があれば、ケース入力や引き継ぎ等で事業所全体、家族とも情報の共有を行なった。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の聞き取りシートなど活用しているが、「わからない」という答えも多く、1人ひとり関わる時間も少ない(特に訪問のみの利用者様)事もあり、「10個以上」までは把握出来ていない。</li> <li>・食事について、食形態や個人の嚥下機能に対する観察力の不足や、知識不足を感じる。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的にコミュニケーションを図り信頼関係を築き生活環境や生活歴等を理解する。食事についての知識(咀嚼、嚥下、認知度や食事状況の観察等)を高めるため、勉強会や研修に参加する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11月 27日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 小規模スタッフ 10名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	4	3	0	10

前回の改善計画  
・緊急時連絡シートに、家族以外に担当の民生委員の方や関わりの深い方を記載し周知を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果  
・民生委員は確認できたが、関わりの深い方については、なかなか情報収集が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	5	4	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	8	0	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	9	1	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	8	0	1	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・生活スタイルを把握する為に利用開始時の担当者会議での情報ばかりではなく、継続的に情報収集を行なった。また、買い物支援、馴染みの理美容店への送迎支援、地域行事へ参加し地域との関係が切れないように支援した。  
・本人やご家族との関わりから、友人や近隣者等の協力を得たり、社会資源を把握し役割を確認した。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・利用者によっては、人間関係など聞ける方となかなか聞けない方がおり、偏りがある。訪問サービス利用者に関してはフローチャートにて民生委員を記載しているが、その他の利用者に関してはできていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
・全利用者の地域担当の民生委員や、関係の深い方の情報を把握し、緊急時対応シートに記載する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 27 日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 小規模スタッフ 10 名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?					

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	8	0	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	6	0	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	7	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	6	0	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の配食サービス、ふれあいヤクルト事業などの活用、百歳体操の参加や近隣の助け合いなどで地域資源を活用し支援を行なった。</li> <li>・本人のニーズに応じたサービスの提供を行い、その日の状況、状態に応じたサービスの調整を行い、柔軟に対応した。</li> <li>・利用者の変化や気づきはミーティングや記録に残し共有した。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 29 日

6. 連携・協働

メンバー 小規模スタッフ 10 名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	3	4	2	1	10

前回の改善計画	・年 4 回開催の地域ケア会議には、可能な限りスタッフ全員が参加・傍聴できるように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・業務の都合上参加できるスタッフに限りがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	6	0	1	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3	5	1	1	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	5	1	1	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	6	1	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・サービス担当者会議で他のサービス機関との連携を図った。 ・地域ケア会議等にも参加し、事例発表や傍聴を行っている。 ・若鮎祭りや病送り等の町内行事に積極的に参加した。 ・毎月 11 日には認知症カフェを開催したり、舟形小・中学生のボランティアの来訪もあり交流している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域ケア会議等に参加した事がない職員がいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・自治体や地域包括支援センターの会議に可能な限りスタッフ全員が参加・傍聴できるように努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11月 27日

7. 運営

メンバー 小規模スタッフ 10名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	4	5	1	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	5	5	0	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	5	5	0	0	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	4	6	0	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・運営会議や小規模会議等において、より良い環境作りに向けた取り組みや意見を伝えている。
- ・利用者様、御家族、地域の方より意見や苦情があった際は、全スタッフへの周知、検討を行いすぐに対応できる様努めている。
- ・町と共催し認知症サポーター養成講座や認知症カフェを継続して開催している。また、AEDを設置、福祉避難所としても町と協定を結んでいる。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・小規模多機能型居宅介護事業所の在り方についてはまだ勉強不足だと感じるため、意見を言えない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

小規模多機能型居宅介護事業所の在り方について、事業計画や各会議の資料をしっかりと読み込み知識を高める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11月 29日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小規模スタッフ 10名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5	4	1	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	5	1	0	10
③	地域連絡会に参加していますか	3	5	1	1	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	6	0	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・委員会を中心に研修を実施しており、職場内研修、外部研修に参加した。研修で得た知識を、勉強会を開催して多くの職員に周知し伝達した。
- ・資格取得のための研修や町主催の連絡会にも参加した。
- ・事故が起きた場合は対策を検討し、委員会を中心に環境整備や利用者の観察などを行い再発防止に努めた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・業務の都合上、研修はスタッフ全員が参加する事が出来なかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・自主研修や興味のある研修に、積極的に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12月 2日

9. 人権・プライバシー

メンバー 小規模スタッフ 10名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない （現在、小規模に身体拘束の対象者はいない）	9	1	0	0	10
②	虐待は行われていない （虐待は違法であり、いかなる虐待も行われていない）	8	2	0	0	10
③	プライバシーが守られている	5	5	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している （現在、成年後見制度を活用している方はいない）	5	5	0	0	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	4	0	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・身体拘束、虐待防止の勉強会を年に3回実施し、全職員に周知徹底した。身体拘束は現状行われていない。また、虐待についての報告は現在ない。
- ・個人情報は第三者の目につかないよう鍵付きのキャビネットに保管し、適切に管理できた。
- ・個人情報が記載されている書類等はシュレッターを使用し破棄した。
- ・写真等を広報誌やHPに掲載する際は本人及びご家族に確認を取り了承を得た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人舟和会	代表者	伊藤 宏	法人・事業所の特徴	小規模多機能型居宅介護事業所は、利用者が可能な限り住み慣れた地域で居宅生活を継続できるよう、利用者の選択に応じて、事業所への「通い」を中心として「泊り」や「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境のもと日常生活上の支援や機能訓練を行います。利用者がこれまでの地域とのつながりを保つことができる環境作りを目指します。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所ほなみ	管理者	高橋 純康		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	4人	1人	1人	1人	0人	2人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き取りシートをできるだけ早くに作成し、利用者を深く理解してより良い支援に繋げるために活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の聞き取りシートを活用して以前の暮らしについて把握できるよう努めたが、分からないという答えも多く 10 個以上までは把握できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会に全員参加する事は難しいため、しっかりと伝達研修を繰り返したほうが良いのではないかと。</li> <li>緊急時連絡シートに民生委員の名前が入っていなかったため、具体的に記入しておいてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人では分からない事は、ご家族へ伺う等、積極的にコミュニケーションを図り、信頼関係を築き生活環境や生活歴等を理解する。</li> <li>食事についての知識(咀嚼・嚥下・認知度や食事状況の観察など)を高めるため、勉強会や研修に参加する。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品展示スペースの活用について、地域に情報を発信し周知に努める。</li> <li>今後も事業所内外の衛生管理に努め、清潔な環境を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の作品等を展示し、集いの場を提供した。</li> <li>防犯・離設事故防止の為、20時～8時までは施錠はしているが、その他は施錠せずに開放している。ただ、利用者のその時々で、人感センサーを使用したりやむをえず施錠（玄関にインターホンを押してください等表示）する事もあり今年度は離設事故は起きていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イルミネーションや作品の展示スペースを設け、地域住民が自由に見学できるよう事業所に入りやすい工夫がされている。</li> <li>施設特有の不快感臭いや音もなく、とても清潔に感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品展示スペースを活用し地域に情報を発信していく。</li> <li>今後も事業所内外の衛生管理に努め、清潔な環境を提供する</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年度も引き続き地域の社会資源として周知を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅の認知症高齢者の居場所作りの為、4月～12月までの間、定期的に認知症カフェを開催したが、参加に繋げることは難しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほなみ便りを配布し、事業所をアピールしてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度も引き続き認知症カフェの開催等を通して、地域の社会資源としての役割を担えるよう、活動の周知を図っていく。</li> </ul>

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>・2019年度も、買い物や通院等の支援や地域行事への参加等継続し、地域との関わりを断ち切る事のないよう支援する。</p>	<p>・毎月、買い物の日を設定するなどして、利用者の暮らしの支援を行った。また、買い物代行や理美容、通院等随時対応した。</p>	<p>・買い物や理美容、通院など、本人の今までの生活を断ち切らないよう支援を行っていることが分かった。  ・近隣の心配な人は、まずは民生委員が町に連絡することとなっている。  ・職員も少ない中、新幹線を見に出かけたり、外出の行事に取り組んでいて、すごいと思う。  ・買い物支援は、利用者にとって冬期間とても助かると思います。</p>	<p>・令和2年度も、買い物や買い物代行、通院送迎等の支援や地域行事への参加等継続し、地域との関わりを断ち切る事のないよう支援する。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>・2019年度も、認知症カフェを定期開催し、介護相談の場、地域の心配な方々の相談の場、地域住民の集いの場を提供する。</p>	<p>参加者はすくなくはなかったが、認知症カフェの開催や作品展示等で、地域の集いの場を提供することができた。</p>	<p>・認知症カフェを出張カフェとして、地域にでることで、人が集まれば良いが、集まらなかった場合人と手間をかけた分無駄になってしまうのではないかと、何か集まる工夫があればよいのではないかと。  ・認知症カフェを施設内で行う事により、入所者と地域を結び付ける事ができ、入所者刺激にもなるのではないかと。  ・清流荘での取り組みにタイアップしてはどうか。</p>	<p>・令和2年度も、認知症カフェを定期開催し、介護相談の場、地域の心配な方々の相談の場として地域住民の集いの場を提供する。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>・2019年度も、関係者の協力を得ながら防災訓練を定期的に行い、スタッフ全員が適切に対応できるよう避難場所や誘導経路の周知に努める。</p>	<p>夏の豪雨の際、裏山のがけ崩れの危険性が高まったため、ほなみ内ではありましたが、A・Bユニットの利用者が山側より遠いCユニット・小規模側へ避難し一夜を過ごした際、総合防災訓練での訓練内容が活かされたものとなった。</p>	<p>・ほなみの防災訓練は毎年見学しているが、内容は充実しており、とても評価できる。今夏の豪雨災害では実際に避難しており、訓練がしっかり活かされたのではないかと。</p>	<p>・令和2年度も、防災訓練を定期的に行い、有事の際にはスタッフ全員が適切に対応できるよう避難場所や誘導経路の周知に努める。</p>